

平成30年度 藤山中学校グランドデザイン

◎山口県の教育目標

『未来を拓く たくましい
「やまぐちっ子」の育成』

学校教育目標

皆が生き生きと活動する学校
～全員で、主体的に、最後まで～
(5年次)

校訓「自主独立」

◎宇部市教育の基本理念

『夢・絆・志 ふるさとを愛し、
未来を拓く人づくり』

教職員の行動目標

- Triple-Work
Team-Work, Foot-Work, Head-Work
『組織力・行動力・知恵力』を大切に

生徒のチャレンジ目標

- 【藤中3本柱】
- あいさつ
- 時間厳守
- 校内美化
- 【いじめ0宣言】

- ### 【めざす生徒像】
- 自主的な活動のできる生徒
 - 礼節を身につけた生徒
 - 健康で気力に満ちた生徒

本年度の重点取組事項

○学ぶ力をつける

学び合いを通じて、自分の考えや
理解を深めようとする生徒の育成

○人と関わる力をつける

集団の一員として、高い自覚と責任をもち、
互いに助け合う生徒の育成

○たくましい気力・体力をつける

心身ともに健康で、ねばり強い生徒の育成

重点取組事項具現化の視点

学習指導(確かな学力)

- 落ち着いた学習環境と学習規律の徹底
- 小中連携の更なる推進と9年間のカリキュラムづくり
- 学ぶ意欲、学び続ける意欲の喚起し、学力の向上につなげる
- 「学び合い」のある授業の創造による授業改善
- 学力不振生徒への学力を保障し、学力の二極化の解消を図る
- 家庭・地域の人材や教育支援ツールの有効的な活用と実践
- 家庭学習の充実

生徒指導・教育相談(生徒理解に基づく積極的な生徒)

- 『活力あるチーム藤山』としての仲間意識の育成
- よりよい集団に向けて、『さらに一歩前』に進んだ積極的・開発的の生徒指導の推進
- 凡事徹底(あたりまえのことを一生懸命する生徒の育成)
- 生徒指導体制の整備・発展と教育相談の充実及び関係機関との連携の強化
- 不適応生徒・問題行動の未然防止、早期発見・早期対応
- 生徒会との連携(ボランティア活動、生徒会専門委員への支援と活動の活性化)
- 学校・家庭・地域の連携による生徒指導の強化

健康教育(体力の向上)

- 学校事故、交通事故の絶無と健康教育の推進
- スポーツ・運動の習慣化
(スポーツテストの結果活用)
- 柔軟性を中心としたバランスのとれた体力の向上
- 基本的生活習慣の徹底(睡眠・食事・勉強)
- 生徒専門委員会の活動の充実
(生活習慣、ノーマディアプロジェクト、食育など)
- 部活動指導の充実

道徳教育(豊かな人間性)

- 人間尊重を基本に、豊かな人間性や正しい道徳観、道徳実践力の育成
- ・心に響く「道徳の時間」の工夫改善と教科化に向けての評価研究
- ・全教職員参加による道徳授業の実践と指導力のアップ
- ・充実感、達成感を味わわせる学校行事(体験活動)
- ・特別支援教育の充実
- ・正しい言語環境、人権意識の醸成

環境教育

- 再生可能エネルギー
(バイオマスなど)に関する
学習の推進
- エコリーダースクール
としての取組

キャリア教育 (人としての生き方教)

- 小学校からの連続性と発達段階に応じた教育の推進
- 人の生き方を考える場面の設定
職業講話、職場体験学習、立志式、進路相談など
- 自己理解を深め、自分を生かす進路選択能力の育成

連携(家庭、地域、小学校とともに)

- 家庭との連携
 - ・ホームページ、学校だよりをはじめとした各種たより、安心メールなど積極的な情報発信
 - ・育友会との更なる連携
- コミュニティ・スクールと地域教育ネットの加速度的推進と充実
 - ・コミュニティ・スクールと連動した学校組織(全教職員がかかわる組織)としての関わり
 - ・地域に開かれ、地域に支えられる学校づくり ・コミスク・ルームの積極的かつ充実した活用
- 小中連携(9年間を通しての支援)
 - ・拡大学校運営協議会の開催と内容の充実
 - ・カリキュラムづくりと生徒指導の充実、学力向上に向けての取組

職員研修(教師力の向上)

『研究主題』

- 「かかわり」や「学び合い」のある授業づくり
- 学び合いのある授業づくり(4年次)の継続とその具体的な取組
- 生徒の学ぶ意欲・学び続ける意欲の向上を促す授業づくり
 - ・公開授業を中心とした実践研修(スーパーバイザーの招聘) ・全員による個人研究授業の実施と互見授業の充実
 - ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりの推進 ・小中相互の研修会の参加、合同研修会の実施 ・道徳の授業の研究
- 危機管理、綱紀保持、その他の研修の充実 ・『飲酒運転、体罰、ハラスメント』の根絶の徹底と取組 ・分掌担当などがリードする研修会の実施
- 人材育成(『活力あるチーム藤山』での教師力をめざして) ・キャリアステージに応じた育成への取組 ・OJTによる実践を通じた育成
- 働き方改革、時間外勤務の減少に向けて ・メリハリのある働き方の推進 ・ノーマル作業、ノーマル活用の設置 ・教職員レクの実施